

【事務事業調査】

事務事業名	健康診査事業			予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
				コード	001-04-01-02-0030104
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当	健康づくり担当	事業の分類	既存事業
		係長	田中圭子		

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	H22 事後評価 国のがん検診推進事業により、子宮がん乳がん検診について、対象者へ個人通知を行いがん検診受診を勧めているが、無料であることや直接対象者に通知がいくことで、受診者は増えています。検診制度を知らなかった人たちへ周知することができました。その他のがん検診等については、特定健診で国保加入者のみが対象となるため、受診できないと勘違いする方が多く、周知が行き届いていないようです。がん検診推進事業の個人通知を活用し、周知に努めていきます。22年度のがん検診受診者は延べ2,970人でした。	定期的に健康診査を受診することで、疾病を早期に発見することができます。早期に受診し適切な対応を行なうことにより、重症化を防ぎ回復を早めます。その後の生活を健康的に過ごすことができ、健康寿命を延ばすことができます。健康診査を受けることで、身体の変化をすることができ、生活習慣改善のきっかけとなり、正しい生活習慣を身につけるための行動を起こします。疾病を予防するとともに、高額な医療費を抑えることができます。
	H24 事前評価 健康増進法に基づき各種健康診査(胃、肺、大腸、子宮、乳房、前立腺、ウイルス肝炎、骨密度測定)を実施。保健センター、図書館中央館を会場に年28回実施します。歯周疾患健診を町歯科医師会に委託し実施します。国のがん検診推進事業を活用し、節目の年齢を対象に、子宮がん、乳がん、大腸がんの検診料金を無料とし、受診勧奨を行います。健診の利便性を考慮し、特定健診と同時に実施します。国民健康保険加入者へは、特定健診のお知らせと同時に健康診査の案内を行います。その他の対象者には「保健事業計画のお知らせ」やホームページへの掲載で周知します。様々な機会を通じて健康診査の受診を勧めます。受診後は特定保健指導と同時に結果に応じて支	
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
がん検診受診者数(延べ人数)	3,100人		

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 消耗品	89	健康手帳ファイル 健診通知案内作成用紙・タックソール 健診データ保存用USB
2 印刷製本費	482	子宮がん乳がん検診受診票 がん検診クーポン券 封筒 がん検診手帳
3 通信運搬費	934	受診票通知 結果通知 がん検診推進事業周知用通知 健診申込受取人払い通知
4 委託料	19,500	一般健康診査 胃がん検診 肺がん検診 大腸がん検診 子宮がん検診 乳がん検診 歯周疾患健診 肝炎ウイルス検診 骨密度測定 ※23年度からがん検診推進事業に大腸がんが追加となったため、大腸がん受診者増がみこまれます。
5 負担金	3,780	特定健診、後期高齢者健康診査追加項目分健診料
6		
7		
8		
	24,785	

■事業費(実績)

【単位:円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	24,785		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		